

特別講演 1

「Unsuspected Killer ～疑う者は救われる～」

福井県立病院 救命救急センター科長
林 寛之 先生

救急での怖い疾患の見逃しは古今東西いつも同じ。でも敵は手を変え品を変えてあなたをだましてくる。命に関わる怖い疾患の非典型例がどのような主訴で来院してくるのかを知っていれば時間外救急も恐くない。全然恐がらないのは無謀だし、恐がっただけでは患者は診れない。正しく恐がる事が時間外救急では大事だ。疑わなければ見逃されてしまう疾患に強くなるようポイントを1時間ポッキリで伝授します。

中でも救急疾患で最も訴えられるのは心筋梗塞。胸痛で心筋梗塞を疑うのは難しくないが、胸痛以外の訴えで来院した時に限って心筋梗塞ってことになり、見逃したと言われたらたまったもんじゃない。腹痛だって激しい腹痛なら誰も見逃したりはしない。でも微妙な腹痛って実際の現場では多いよねえ。そんな中、急性腹症につながっていく腹痛をいかにピックアップしていくかが重要なカギになる。虫垂炎や子宮外妊娠は絶対見逃したくないが、初診時には専門医だって難しいことをきちんと知った上で対応できるようになりたい。